



移住促進フォーラム

～移住者の受け入れと地域活性化について～

平成23年2月8日(火)に「移住促進フォーラム～移住者の受け入れと地域活性化について～」と題しまして、富良野文化会館で講演会を開催しました。

当日は、協議会会員や企業の方、連合町内会長、市民など72名の方の参加をいただき、移住促進事業に対する関心の高いことがわかりました。

フォーラムでは、講演の前段に、過去2年間の協議会の取り組み状況で、今年行われた移住フェアの状況や、移住相談状況、実際に移住した方の件数などを報告しました。

その後、日本総合研究所公共コンサルティング部長矢野勝彦氏による講演を行いました。地域が置かれている状況やこれからの課題、移住が地域にどのような効果を示すのか、また全国各地で取り組んでいる事例を紹介していただきながら講演を行っていただきました。



その中では、移住者の新たなスタイルとして、「仕事やりがい探求派」「生活革新チャレンジ派」「悠々自適暮らし満喫派」を提案され、受け入れ側の視点から、移住してくる側の視点に代えていくことが重要になることや、移住を实践した方へのアンケートから、移住する前の固定観念と移住した後のギャップなど紹介していただき、地方生活に対する固定概念を払しょくしていくことが必要であり、今後は移住者のスタイルに合わせた対応が必要であると話されていました。

以上のような講演をいただき、参加者より質疑応答をいただきました。意見として実際に移住を経験した方から「ホームページなどは移住者が欲しい情報があまりない。もっと生の情報が欲しいと感じた。」など情報を発信している協議会として、そのような意見をどう生かしていくかが今後の課題になりました。

